

(1) 専門研修連携施設

整備基準 11,28,29

- ・ 専門研修連携施設において専門研修指導医の下、地域医療の中核病院の第一線の勤務医として豊富な症例の画像診断、IVR、ならびに放射線治療の基本手技を習得することができます。
- ・ 放射線科関連の学会、学術講演会、セミナーに積極的に参加することが義務付けられます。
- ・ 必須の講習会を受講し、年に1回以上筆頭演者として学会発表を行うことができます。
- ・ 各施設でのカンファレンス、各科との合同カンファレンス、抄読会に積極的に参加して学習することができます。
- ・ 各病院が実施する医療安全講習会等に定期的に参加することができます。
- ・ 専門研修基幹施設である愛媛大学医学部附属病院放射線科のカンファレンス、抄読会にも適宜参加し学習することができます。

以下、各専門研修連携施設の特長などをまとめます。

A. 県立中央病院放射線科

- ・ 地域の1次・2次・3次医療を担い、地域と連携して地域医療を支えることができます。また、連携施設で研修を積む他領域の専攻医や指導医と密に連携し、後方支援として貢献できる放射線診療を修得することができます。3次救急を含む救急疾患の画像診断、IVRの症例を豊富に経験できることが最も大きな特徴です。
- ・ 超音波検査は、上腹部に関して研修が可能です。専門研修プログラム統括責任者および連携施設担当者（指導医）の監督下に、当院消化器内科との研修協力により、年間120例以上を経験することが可能です。
- ・ 消化管X線検査研修症例数のうち、専攻医は一人年間10例以上の経験が可能です。

B. 国立病院機構四国がんセンター放射線科

- ・ 悪性腫瘍の病期診断、治療効果判定、再発・転移の早期診断について、CT、MRI、PET/CTなどを用いた総合画像診断を研修できます。
- ・ 放射線治療の適応、方法、治療計画について研修します。特に肺定位照射線治療、強度変調放射線治療などの高精度放射線治療、小線源治療についての治療計画、実際についても研修できます。
- ・ 消化管透視、血管造影やCTガイド下生検などの各種IVRも随時研修できます。

C. 松山赤十字病院放射線科

- ・ 松山市地域医療の中核病院として、第一線の外傷・急性疾患・悪性腫瘍などの画像診断、ならびに放射線治療を習得することができます。
- ・ 診断機器としてはMD-CT、3T-MRI、PET-CTなどの最新の装置が導入されています。超音波検査の研修も可能で、総合的な像診断を研修することができます。

- ・放射線治療に関しても、強度変調放射線治療や定位照射等の高精度放射線治療を行っており、放射線治療の適応や治療計画の研修をすることができます。

D. 市立宇和島病院放射線科

- ・南愛媛(南予)医療圏の中核病院の勤務医として、第一線の外傷・急性疾患・悪性腫瘍などの画像診断や IVR、放射線治療の基本手技を習得することができます。単純写真レポートを年間、2万例近く、マンモグラフィの読影レポートを年間 1500 例以上作成しています。

- ・消化管撮影はほとんどを試行しています。IVR は、TACE など腹部中心で、CT 下生検なども多数施行しています。地域の1次・2次・3次医療を担い、地域と連携して地域医療を支えることができます。また、連携施設で研修を積む他領域の専攻医や指導医と密に連携し、後方支援として貢献できる放射線診療を修得することができます。

- ・放射線治療では定位放射線治療など高精度治療にも取り組んでいます。核医学は全件に放射線科関与して90%以上レポートを作成しています。

E. 一般財団法人永頼会松山市民病院放射線科

- ・救急疾患をはじめとして幅広い症例を経験できます。指導医3名により IVR, 核医学、放射線治療に関しても研修可能です。特徴として、病診連携に力を入れています。

F. 愛媛県立今治病院放射線科

- ・今治医療圏の中核病院で、急性期医療に特化しています。地域災害拠点病院、地域周産期母子医療センターに指定されています。各科の救急疾患が多く、放射線科は緊急の画像診断に対応しています。産科領域の IVR や乳児腸重積の整復も行っています。循環器内科との連携が深く、心臓核医学、冠動脈 CT や心臓 MRI の症例が豊富です。胸部単純写真は、全例放射線科で読影しています。放射性ヨウ素治療病室が1床あり、放射線科が治療を担当しています。腹部超音波検査は、年間100例以上を経験して指導医によるレポートのチェックを受けることが可能です。消化管 X 線検査は、専門研修指導医の下、1年間で50例以上の研修が可能です。

G. 社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院

- ・今治医療圏の中核病院で、地域の二次救急を県立今治病院とともに担っています。各科救急疾患が多く、放射線科は緊急の画像診断に対応しています。また地域がん診療連携拠点病院に指定されており、がん症例についても多く学ぶことができます。

H. 愛媛県立新居浜病院放射線科

- ・東予地区の唯一の三次救急を担う病院であり、また新居浜医療圏の中核病院の勤務医として、第一線の外傷・急性疾患・頻度の高い悪性腫瘍などの画像診断や IVR の基本

手技を習得することができます。

1. 社会福祉法人恩賜財団済生会松山病院放射線科

- ・ 当院は松山市の輪番制救急当番を1病院で担当しています。救急疾患のCT,MRIなどを多数研修できる病院です。また松山西部からの紹介患者が多く、高齢の患者、疾患についても数多く研修できます。
- ・ 愛媛大学放射線科との連携により、心臓CT,心臓MRIの診断を積極的に行っております。特に3T心臓MRIについては学会発表も積極的に行っており、同領域の研修も可能です。
- ・ IVRでは、透析センターを有しているため、多数例のシャントPTAを経験できます。外傷のTAE、膿瘍ドレナージなども経験できます。

(2)専門研修関連施設：愛媛県厚生連健診センター

- ・ 専門研修関連施設として、超音波検査および消化管造影の手技と読影を研修し、専門研修基幹施設と専門研修連携施設では研修できなかった項目を補完することができます。基幹施設の責任のもとで、専攻医が必要な研修ができる様に、月に数回程度は研修内容を確認し、直接的な指導・助言を与えます。また、遠隔画像診断の環境により専攻医が画像データならびに患者情報をもとに遠隔地の指導医から随時指導を受けることができます。